

## Q 11月の町長選挙に立候補する 意思は

### A まずは任期を全うし、改選までの 5か月間で考えていく



佐藤定男議員

**問** 町長就任後3  
年半が経過し  
た。就任当初から東日  
本大震災後のかじ取り  
ということで大変なプ  
レッシャーとご苦労も  
あったかと思う。改め  
て振り返ってどのよう  
な思いか。

**町長** 東日本大震災  
発生時には、私  
は日赤福島県支部の事  
務局長の職にあり県全  
体の復旧復興に当たっ  
ていた。町長選挙に際  
し、国見町内の各層か  
ら立候補の要請を受け、  
熟慮の末に、ふるさと  
国見の復旧復興に少し  
でも役に立てればと就

任した。今日まで全身  
全霊でやってきた。

就任以来、「オール  
国見」の精神と「復興、  
絆、国見の未来をみん  
なでつくりましよう」  
のスローガンのもと、  
5つの目標を最重要課  
題とし、町民の皆様  
心の元気を取り戻して  
もらいたいという思い  
で元気活力事業などに  
取り組んできた。

**問** 町長就任時、  
一番対策が進ん

でないのは除染問題  
だったと思う。太田町  
長は、いち早く復旧復  
興町民会議を立ち上げ  
「国見の未来をみんな  
でつくりましよう」を  
合言葉に大きな成果を  
あげてきた。役場庁舎  
が完成し、観月台文化  
センターも本来の役割  
を取り戻し、復興を実  
感できるようになって  
きた。実績とは別に何か  
反省点はあるか。

**町長** 東日本大震災  
からの復興の状  
況が、私の思いと若干  
かけ離れていたことが  
一つの反省点と思っ  
ている。私自身が県の公  
務員としてこれまで  
培ってきた経験からい  
けば、思い通りにいか  
ないことも多かった。  
一步一步なんとかやっ  
てこられたが、なか  
かスピーディーにでき  
なかつた。

しかし、能力の限界

今も除染作業は  
続けられている

の中で全力で一生懸命  
やってきたということ  
は明言する。

今後は、町民の皆様  
にさらに協力をいただ  
きながら少しでも修正  
すべく鋭意対応してい  
きたい。

**問** 国見町の復興  
とともにさらな  
る発展を目指し、町は  
「歴史まちづくり」と  
「道の駅開業」に取り  
組んでいる。この2つ  
の事業はまさに国見の  
未来が懸かっている。  
これらの土台をしつ

かりと作っていくこと  
も太田町長には求めら  
れていると思う。  
11月に行われる町長  
選挙に立候補の意思は  
あるか。

**町長** 5つの目標を  
掲げ進めてきた  
が、まだ道半ばの部分  
もある。今後さらに復  
興再生の光が大きくな  
るよう、また、国見町  
が持続可能性のある発  
展を遂げていくために  
も、オール国見の体制  
で交流連携の輪を広  
げ、将来の町の基盤作  
りに取り組んでいくこ  
とは、私のみならず、  
すべての皆様の課題と  
認識している。

まずは残された任期  
に全力を尽くし、改選  
まで5カ月あることか  
ら、町民や後援会など  
の意向を確認しながら  
最終的に結論を出した  
い。

## Q 結婚世話やき人事業に期待

## A 少子化対策や定住促進の要になる

**問** 結婚世話やき人の募集や人選は、どのように進めていくのか。

交流も図りたい。この事業は、少子化対策や定住促進に向けた取り組みの要になると考えている。

**町長** 今年度、ボランティアとして10人程度登録する予定である。

**問** この事業で結婚が成立した場合、以前行われていた報奨金などは考えているか。

若者だけでなく、結婚を希望する40代、50代の方々も取り上げていくべきではないか。

活動にあたり研修会などを実施し、県の世話やき人制度と連携して広域的な情報交換や

**問** 活動対象の年齢制限はない。結婚を希望する方はどなたでも対象となる。

活動対象の年齢制限はない。結婚を希望する方はどなたでも対象となる。

活動対象の年齢制限はない。結婚を希望する方はどなたでも対象となる。

活動対象の年齢制限はない。結婚を希望する方はどなたでも対象となる。

活動対象の年齢制限はない。結婚を希望する方はどなたでも対象となる。

活動対象の年齢制限はない。結婚を希望する方はどなたでも対象となる。

活動対象の年齢制限はない。結婚を希望する方はどなたでも対象となる。

活動対象の年齢制限はない。結婚を希望する方はどなたでも対象となる。



結婚世話やき人説明会には約50人が参加した

使ってほしいと考えている。

**問** 施設で加工・開発された品物を試食するコーナーの併設は考えているか。また、年数回イベントの開催計画はあるか。

**まちづくり交流課長** 6次化商品製造・販売を目的に、県の保健所の指導のもとで設置する施設であり、加工施設内での試食会などの開催は可能に近い。加工施設以外の森江野町民センターの施設を活用しての試食・試飲会、小規模のイベントなどは実施を検討している。

## 加工施設で町の食文化の掘り起こしを

**問** 旧森江野季節保育所を改修し農産物加工施設が設置される。農家のお母さん方が中心に携わると思うが、業者の協力も必要ではないか。

**町長** 6次化は、町の重要な課題の一つであり、風評被害の払拭にもつながる。農商工連携の意味で町全体の産業が回ると考えており、施設はそのベースになると認識している。今後ともしっかりと施設を立ち上げ、産業全体の振興に結び付けていきたい。

**問** 民族研究家の結城登美雄氏が国見の食文化の掘り起こしで何度か来町しているが、今後も事業にご協力いただけるのか。

民族研究家の結城登美雄氏が国見の食文化の掘り起こしで何度か来町しているが、今後も事業にご協力いただけるのか。

民族研究家の結城登美雄氏が国見の食文化の掘り起こしで何度か来町しているが、今後も事業にご協力いただけるのか。

民族研究家の結城登美雄氏が国見の食文化の掘り起こしで何度か来町しているが、今後も事業にご協力いただけるのか。